

ケアマネ通信

No. 36

発行：平成27年2月1日
事務局：東町わたや薬局内
担当： 松雪幹一 木下里美
TEL：0942-81-3039
FAX：0942-81-3053
E-Mail：hwataya@vip.saganet.ne.jp
URL：http://www.tosukaigo.com/
【協力：鳥栖地区広域市町村圏組合介護保険課】

鳥栖地区介護支援専門員協議会

事業所内での回覧をお願いします！



1. 新年のご挨拶

鳥栖地区介護支援専門員協議会 会長 梅木 康一

新年あけましておめでとうございます。

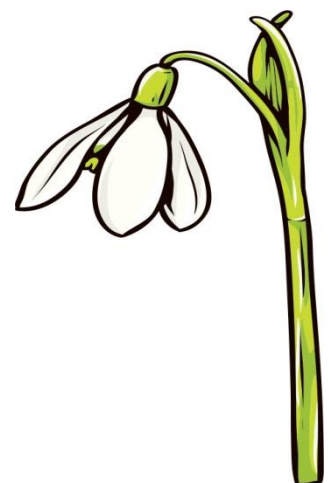
年末は暖かい日が続いておりましたが、元旦から3日にかけての寒波にびっくりし、寒さと合わせて子供達や親せきに配るお年玉でガタガタ震えるお正月を迎えておりました。皆様はいかがお過ごしでしたでしょうか。長い方は9連休、短い方は元旦のみ、中には年末年始も関係なく業務に当たられたケアマネさんもうらっしゃるかもしれません。ケアマネさんは短いお休みの方が多く、休みでも転送電話を握りしめてお休みを過ごされる方も少なくなかったのではないのでしょうか。

さて、本年は介護報酬改定が行われる年であり、又第6期の鳥栖市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定の年でもあります。介護報酬改定に向けては、高齢化が年々進んでいるにも関わらず、さらなる支援を行う為の財源も国では捻出が

難しいと言われており、削減傾向で検討されていると報道されています。既に公表されている内容としては特別養護老人ホームの入所基準の見直し、一定以上の所得がある方の2割負担、低所得施設利用者の食費・居住費の適用要件変更、日常生活総合支援事業への取組み等が示されています。保険単価に関しては具体的な数字は2月頃でしょうか。全体で2.27%の引き下げとなり9年ぶり、下げ幅としては過去最大とも言われております。深刻な人材不足も大きな問題であり、これからの超高齢化社会をどのように迎えていくのか、不安ばかりが募る今日この頃です。

当協議会ではこれらの制度改正についての理解をより深める為、2月25日に研修会を計画しております。今回は株式会社ケアマネシステムの谷口氏へお願いし、制度改正の内容やポイントについてご講義頂く予定です。是非ご参加頂き、理解を深めて頂ければと思います。

今年も慌ただしい一年となりそうですが、皆様体調を崩されぬよう頑張ってください。簡単ですが、新年号のご挨拶とさせていただきます。



2. 第6回介護保険推進情報交換会参加報告

長野 稔昌

去る1月16日(金)佐賀県医師会メディカルセンターにおいて開催された、第6回介護保険推進情報交換会に鳥栖支部から梅木会長、佛坂さん、長野で参加させていただきましたので、簡単ではありますが、報告をいたします。

主な会議内容は以下の通りでした。

①平成26年度実施事業について中部、唐津、杵藤、伊西、鳥栖の各支部の実施事業の報告について

⇒各支部の実施事業について資料提示での報告でした。

②平成27年度に向けての課題・検討事項について

⇒各支部代表者と各保険者代表に佐賀県健康福祉本部長寿社会課より介護指導・地域ケア推進担当係長の八坂様とサービス指導担当主査の井上様を交えて情報交換会
情報交換会の内容としましては、以前、会員の皆様にもアンケートをお願いしました、「ケアマネジメント業務に係る保険者対応（いわゆる保険者ルール）」について、認定調査、申請書、区分変更申請、居宅サービス計画届出書などの申請書の書式記載ルールや申請ルールの標準化や各種申請の効率化、住宅改修訪問リハと通所リハについて、ショートステイ、宅老所、通所サービス、福祉用具購入などについての各地区の課題とその対応について情報交換が行われました。

情報交換の中で、たしかに、保険者独自の申請等のルールや、サービス利用について保険者の細かな解釈と保険者の対応の違いもわかりましたが、保険者からの回答を見ると、単にケアマネが伝え聞いただけの情報のみをうのみにしていたり、う

まく理解できていないと思われるような質問もよせられたりしており、ケアマネ個々の資質においても、今後さらに、県や保険者との情報交換を密にしたり、法の解釈の十分な理解を図ることも必要であるのではないかと考えさせられました。さらにその研鑽の場として、協議会各支部の研修など中身の充実もよりいっそう濃く、深くする責任も大きいと感じさせられました。

いずれにせよ、保険者も、ケアマネさんもいかに被保険者の利益を守ろうとするかという内容であることには間違いなく、大変有意義な情報交換会であったと感じられました。

3. 「介護の日フェスタ」報告

木下 里美

平成 26 年 11 月 11 日にサンメッセ鳥栖で「介護の日フェスタ」がありました。

★記念講演会「介護予防のための運動の実践とおはなし」

特定非営利活動法人スポーツフォアオール代表 井上 伸一先生

★専門相談ブース

- ・介護相談会
- ・認知症相談会

★展示・体験・相談ブース

- ・福祉用具の展示 相談
- ・介護食の展示 相談
- ・介護用おむつ 排泄相談
- ・物忘れテスト

当日は、介護の専門職による介護相談、認知症の人と家族の会による認知症相談、日本コンチネンス協会による排泄相談、栄養士会による栄養相談、西九州大学の協力による物忘れテスト等を行いました。福祉用具や介護食の説明を聞いたり、興味のあるサンプルを持ち帰ったりされていました。ロコモ体操ではホールいっぱい人が集まり体を動かしました。介護や介護予防について学ぶいい機会となりました。

反省会では、

- ・相談件数が少なかったのは、フロア内に排泄や認知症の相談コーナーがあったので、フロア入口の相談窓口では何を相談していいかわからなかったのではないかな。
- ・相談コーナーの場所が、相談しにくい場所だったと思う。
- ・ある程度の集客はあったが、今後の実施に向けて集客の方法を検討すべき。
- ・講演会は参加者人数も多く良かったのではないかな。
- ・会場内での販売を希望される方がいたので、福祉用具業者が困っていた。
- ・展示業者側からは、福祉関係者の方が話を聞きに来てくれたので良かったとの声があった。
- ・実行委員会の打合せの会議が長く、業務に支障が出ることもある。

もう少し意見をまとめて話し合うべきだと思う。

*****当日ご協力いただきました鳥栖地区介護支援専門員協議会会員の皆様、ありがとうございました。*****

【介護相談にご協力いただいた方々】

鳥栖地区包括 貞包智春様・江頭友美様・朝永由美子様

居宅おおしま 古賀優子様・落合奈々様

けいしん居宅 成澤利恵子様・江頭奈津紀様

夢の里 窪田正一郎様・中尾めぐみ様

田代包括 太田秀三様・平山裕詩様

鳥栖西包括 執行聖子様

鳥栖市中央 岡本治美様

ふれあい 古市久美子様

今村病院居宅 岡本和子様

真心の園居宅 執行美保様
野菊の里 武富 徹様
なかばる紀水苑 村上謙二様
セントポーリア 井浦桂様
基山包括 柳 順子様
寿楽園居宅 原 明子様
老健あおぞら 森健太郎様





4. ちよつと言

今年もインフルエンザが流行する季節となりました。1月9日付の報道では138万人の方が罹患し、全国33都道府県で警報レベルになっているとか。例年より3

週間早いペースで流行しているそうです。

実は私は報道を自宅療養期間にテレビで拝見しました。予防接種を受けていたにも関わらず、家族よりプレゼントされてしまったもの（涙）。

久しぶりの療養生活は廃用症候群まっしぐら・・・。下肢筋力の低下は著しく、起きるときついので寝ていたい、ずっと寝ていると起立性の低血圧症状できつい、そしてやっぱり寝ていたい・・・。ああ、ご利用者の方々の声が聞こえてくる。

「起きるときついけん、寝とくが一番」

全くその通りです。でもこのままでは・・・。と自問自答を繰り返し、何とか日常生活自立復帰を果たしました。ご利用者の皆様もきっとわかっていらっしゃる。これではいけないと。でも自分に役割や目標がなければ、なかなかここから抜け出すことは難しいということを体験の中から得ました。

ご本人様の思いを十分引き出せるようなケアプランを作ることがやはり自立支援には大切だということを身を以て知った次第です。

さて私もリハビリ、リハビリ・・・。

鳥栖地区広域市町村圏組合介護保険課	http://www.kttnet.co.jp/tosukaigo
佐賀県介護サービス情報公開システム	http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do
厚生労働省	http://www.mhlw.go.jp
WAMNET	http://www.wam.go.jp
鳥栖地区介護支援専門員協議会	http://www.tosukaigo.com/

会報 編集委員	永松丈幸	木下里美	松雪 幹一	鳥栖地区広域市町村圏組合
発行責任者	梅木康一			
発行	鳥栖地区介護支援専門員協議会			
事務局	東町わたや薬局			